

ヴァーチャルウォーター プロジェクトシステムの提案

武蔵野美術大学

中野 圭

人の認知の不可思議さ

- 雲が人の顔に見えたりするのは？

人面雲というように人間の認知の不確かさによって自然現象である雲にあたかも人の形であるかのような錯覚をみてしまうことがあります。つまり表情のような人格や個性の記憶を呼び起こしてしまうことがあります。

- ゲシュタルト心理学の応用

ゲシュタルト崩壊とは、知覚における現象のひとつ。全体性を持ったまとまりのある構造（Gestalt, 形態）から全体性が失われ、個々の構成部分にバラバラに切り離して認識し直されてしまう現象をいう。幾何学図形、文字、顔など、視覚的なものがよく知られるが、聴覚や皮膚感覚においても生じうる。

プロジェクションマッピング

- プロジェクションマッピングとは、ビデオプロジェクターで、立体物の面のそれぞれをスクリーンとして映像を投影する技法、またその技法を使ったパフォーマンスイベントアート・広告アート。
- 去年の東京駅でのプロジェクションは記憶に新しい。

ウォータープロジェクトション

- プロジェクトションマッピングの応用例として噴水などに投影するものもある。
- 最近では大規模な霧を作り出し、殆ど人工の雲ともいえる状態での投影もある。大規模な広告イベントで行われている。

Google Earthの雲

- Googleが提供している地図情報のアプリ上には雲を映すこともできる。
- 過去の気象の状態を再現できる。
 - 記憶に新しいハリケーン、サンディなど

ヴァーチャルウォータープロジェクション

- Google Earth内の雲を用いてウォータープロジェクションのシミュレーションを行う。
- 実際の気象データとCGの融合によりどのような結果が表れるか試すことができる。オーロラのようにもできそう。
- ランドアート、アースワークス、地上絵(ナスカやイギリス)を3次元上に再現したものとも云える。21世紀の彫刻。
- 最終的にはリアルタイムの気象データや気象予報を利用して、実際のウォータープロジェクションイベントに応用する。
- その先の可能性として認知科学を応用して人面雲を見ときの感動に迫れるようにしていく。例えば、幻肢と云われる腕を失った人がないはずの腕を感じるかのような感覚。
- 例えばモーリス・ラヴェルの『左手のためのピアノ協奏曲』二長調(仏: Le Concerto pour la main gauche en ré majeur) : 第一次世界大戦で右手を失ったピアニスト、パウル・ウィトゲンシュタインの依頼を受けて作曲された、ラヴェルにとって最初のピアノ協奏曲のような創作の可能性。